

## 環境保全活動を推進

### ▶ISO9001 認証

環境ソリューション部、I-S 部、関東営業所、上下水道部、知多事業所、碧南事業所、開発営業部、社長室、業務管理部、総務部、長野営業所、(株)エステム長野で認証取得しています。

### ▶ISO14001 認証

本社、調査分析センター、小牧営業所、保繕課、長久手営業所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、工務課、豊橋営業所、浜松営業所、安城浄水事業所、知多事業所、三重支店、(株)エステム三重、(株)エステム三重 伊勢事務所で認証取得しています。

### ▶ISO55001 認証 (公共下水道処理施設の維持管理業務)

本社 下水道処理施設の維持管理及び技術の支援部門並びに長久手南部事業所で認証取得しています。2016年9月29日にISO55001の認証を取得いたしました。ISO55001はアセット(資産)を管理する仕組みをまとめたISO国際規格です。エステムはお客様のアセットをお預かりし、維持管理をしています。今回取得したISO55001の仕組みを用いた管理を実施することで、更にお客様に安心と信頼をご提供できるよう活動を続けます。



## 主な受賞、認定ほか

<p><b>自動車エコ事業所認定</b> 自動車エコ事業所</p>  <p>2009年12月認定 (愛知県主催)</p>	<p><b>認定エコ事業所</b></p>  <p>2003年5月認定 (名古屋市主催)</p>	<p><b>第44回グッドカンパニー大賞 優秀企業賞</b></p>  <p>2011年1月受賞 (公益社団法人中小企業研究センター主催)</p>	<p><b>子育てサポート企業認定 「くるみん認定」</b></p>  <p>2018年12月更新認定 (厚生労働省主催)</p>
<p><b>ファミリーフレンドリー 企業登録</b></p>  <p>2010年8月登録 (愛知県主催)</p>	<p><b>女性の活躍推進企業認定</b></p>  <p>2010年3月認定 (名古屋市主催)</p>	<p><b>あいち女性輝き カンパニー認証</b></p>  <p>2019年4月更新認定 (愛知県主催)</p>	



【所在地】

本社	〒457-0821 名古屋市南区弥次工町2-19-1	TEL (052)611-0611 (代) FAX (052)612-9384
調査分析センター	〒457-0821 名古屋市南区弥次工町3-22-1	TEL (052)612-9801 FAX (052)612-7504
東京支店	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留1-5-7 YOUビル 3F	TEL (03)5645-2360 FAX (03)6661-2964
三重支店	〒514-2221 津市高野尾町1897-48	TEL (059)230-0099 FAX (059)230-1902
安城営業所	〒446-0056 安城市三河安城町2-26-1	TEL (0566)74-0422 (代) FAX (0566)76-9558
豊橋営業所	〒440-0842 豊橋市岩屋町字岩屋下96-2	TEL (0532)65-3033 FAX (0532)65-3020
小牧営業所	〒485-0084 小牧市大字入鹿出新田字郷前1169-1	TEL (0568)75-3471 FAX (0568)75-4084
長久手営業所	〒480-1113 長久手市山野田1132 橋ビル1F	TEL (0561)63-2811 FAX (0561)63-2831
浜松営業所	〒433-8117 浜松市中区高丘東5丁目6-8	TEL (053)436-7611 FAX (053)438-3944
関東営業所	〒340-0206 埼玉県久喜市西大輪3-21-4	TEL (0480)59-3877 FAX (0480)59-3887
大阪営業所	〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町3-15-23 フォレスト阿倍野208号	TEL (06)6626-3610 FAX (06)6626-3620
九州営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-9-13 第一東福ビル2F	TEL (092)411-9722 FAX (092)411-9750
環境研究所	〒440-0842 豊橋市岩屋町字岩屋下96-2	TEL (0532)65-3022 FAX (0532)65-3020

### 作成およびお問い合わせ先

株式会社エステム 総務部 TEL:052-611-0611 (代) FAX:052-612-9384  
URL: <http://www.stem.co.jp/>



※この環境コミュニケーションレポートは、ベジタブルインクを使用しています。



2019.6.4

# 2019 環境コミュニケーションレポート

## Environmental Communication Report



## ごあいさつ

日本では、2020年の東京オリンピックに向けて様々な準備が進み、世界的な平和とスポーツの祭典を皆で盛り上げようと徐々に熱が上がってきています。さて、その2020年のさらに10年後を目指して世界中で取り組んでいこうとしている目標があることをご存知ですか？

それは、2015年に国連で定められたSDGs（Sustainable Development Goals ～持続可能な開発目標～）です。2030年までに世界を変えるための17の目標が掲げられています。誰ひとり取り残さないことをめざし、先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標で構成されているのが特徴です。その点では、パリ協定とも通じるところがあるかもしれません。

『安全な水とトイレを世界中に』『海の豊かさを守ろう』など17の目標の中には、弊社の根幹となるビジネスで貢献できそうな目標もありますし、『働きがいも経済成長も』『すべての人に健康と福祉を』など、会社として積極的に取り組んでいかなければいけない目標も入っています。これら17の目標をより具体的に169のターゲットもあります。

日本ではまだ認知度19%とされているSDGs。まだまだこれから世界中で共有していかなければいけません。次ページに17の目標を掲載しました。皆様もぜひ一度考えてみていただければと思います。

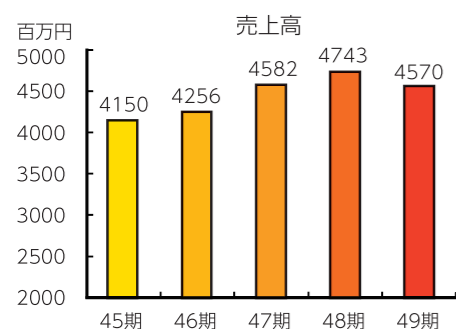
エステムは持続可能な社会の実現に貢献するとともに、「お客様第一主義」を実践し、常にお客様に「安心と信頼」をお届けする活動を続けていきます。これからも、エステムグループをよろしく願っています。

なお、本レポートに関するご意見、ご感想がありましたら、当社スタッフまで頂ければ幸いです。

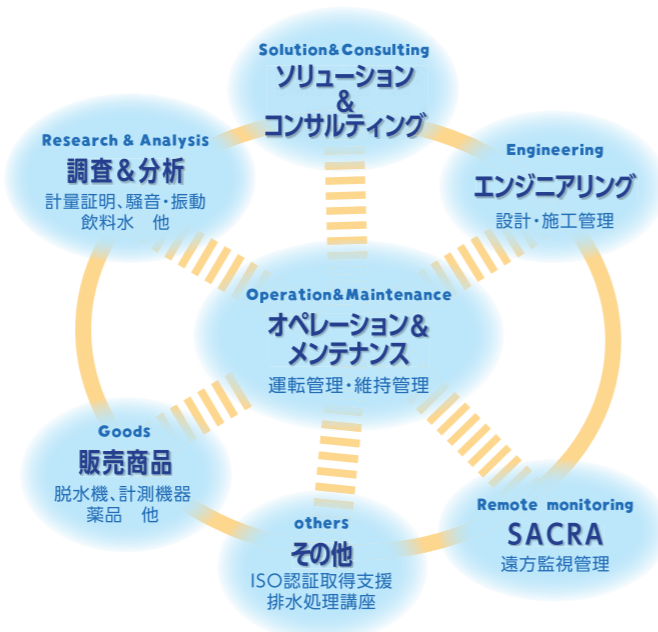
株式会社エステム  
代表取締役社長 塩崎 敦子

## 会社概要

商号 株式会社 エステム  
本社所在地 〒457-0821  
名古屋市南区弥次工町 2丁目19番地の1  
TEL:052-611-0611(代)  
FAX:052-612-9384  
設立 昭和45年(1970年)7月  
資本金 7,000万円  
従業員数 451名 ※2019年4月現在  
代表者 塩崎 敦子  
グループ会社 (株)エステム三重、(株)アイ・メッツ、  
(株)エステム長野、(株)日新技術コンサルタント



## <エステムの環境技術>



エステムのコア事業はオペレーション&メンテナンス（環境施設の運転管理、維持管理）です。

「エステムに依頼すれば何事も必ず満たしてくれる」とご満足いただけるような真のお客様第一主義を徹底するために、長年培った技術力と経験、知恵と想像力を基に、日本のサービスを提供することがエステムの基本です。

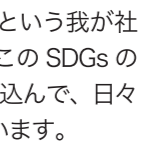
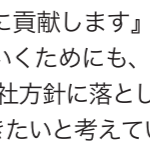
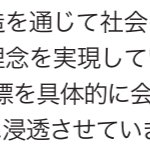
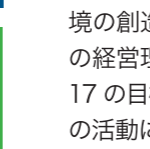
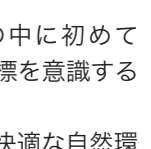
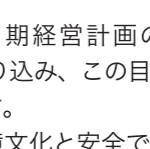
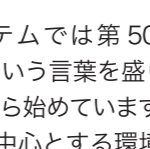
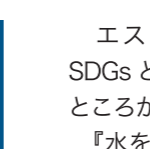
## 経営理念

株式会社エステムは水を中心とする環境文化と、安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します。

## 環境・品質方針

エステムグループは水を中心とした環境保全事業を推し進めます。正確さ、誠実さをモットーに「安心」と「信頼」を提供し、「お客様第一主義の徹底」、「自然環境と生活環境の保全」を実行することを基本理念とします。

- 基本理念を実現するために、次の項目を重点項目とし、環境・品質目標を各部門で設定して活動します。
  - 納期を厳守し、お客様のお求めになるサービス・製品を提供
  - 事業活動に伴う省資源・省エネルギーの推進
  - 改善提案力および問題・課題解決力の向上
  - 環境整備を推進
  - 環境問題の啓発活動・ボランティア活動を推進
- お客様要求事項、関連する法規制およびその他要求事項を順守します。
- お客様満足度を向上させるために、環境・品質マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 環境負荷低減を図り、環境汚染の予防・環境保護を推進し、生物多様性に配慮した事業活動を行います。
- 本方針は必要に応じて見直しを行います。また全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します。



エステムでは第50期経営計画の中に初めてSDGsという言葉を取り込み、この目標を意識するところから始めています。『水を中心とする環境文化と安全で快適な自然環境の創造を通じて社会に貢献します』という我が社の経営理念を実現していくためにも、このSDGsの17の目標を具体的に会社方針に落とし込んで、日々の活動に浸透させていきたいと考えています。

## 第49期環境管理計画（2017年10月～2018年9月）主な目標と実績

方針	49期目的・目標	49期実績と今後の課題	本社 / 各部署
----	----------	-------------	----------

### 1. 環境関連法規則等の順守

法令、条例、協定などを順守し、地域の配慮事項を尊重します	法令、条例について違反はしていません。また訴訟はありません。	本社
------------------------------	--------------------------------	----

### 2. 環境負荷の低減活動を推進

省資源・省エネルギー化を推進します	自動車適正走行により燃費 14.6km/L	全車平均の燃費は 14.2km/L でした。 ※ 48 期から「e 燃費」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 14.6km/L と決めました。この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。	本社
	低排出ガス車を導入	ハイブリッド車の保有台数は 18 台です。49 期の新規導入はありませんでした。	本社
	電気料金削減	①従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所(8 か所)も含めた合算で算出することとしました。今後は 48 期を基準とします。 ②調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行いました。 ③本社ビルのテナント出入りに合わせてデマンド値を見直し、省エネに取り組んでいます。 ④毎月最終金曜日をノー残業デーとし、仕事の効率化を呼びかけています。	本社
廃棄物の削減、リサイクルを推進します	廃棄物を 100% 分別	本社では 3R ステーション（5 分別）を設置し、100% 分別実施しています。各営業所でも分別を推進しています。	本社 各部署
	紙の 100% 分別・リサイクル	古紙回収システムを確立し、100% 分別、リサイクルをしています。	本社
グリーン商品を購入します	グリーン商品購入率 70%	グリーン商品購入率 59.7% でした。	本社

### 3. 啓発活動・ボランティア活動を推進

社員一人ひとりが環境問題に対する関心と知識を深め、啓発活動・ボランティア活動を推進します	エコ・ルール推進	月 1 回エコ・ルールのチェックを実施しています。	本社
	中国・内蒙古自治区における植林	8 月に 3 名の社員を派遣しました。総勢 21 名のグループで 800 本のポプラを植林しました。	本社
	東三河の森における植林	5 月 19 日～20 日に 54 名のグループ社員が参加しました。	本社
	木曾福島の水源地の森林づくり活動	台風のため中止。	本社
	清掃ボランティア実施	本社周辺：毎週火曜日の朝礼後に実施しています。	本社
		各地区： 明治用水土地改良区： 川と海のクリーン大作戦 2017 年 10 月 21 日 降雨により中止 小牧市民祭り：2017 年 10 月 21 日 5 人参加 清掃 長久手市：530 運動 2018 年 5 月 27 日 8 人参加 豊橋市：530 運動 2018 年 5 月 30 日 8 人参加 三重県：松名瀬干潟清掃 2017 年 10 月 28 日 7 人参加 愛知県：安城市内一斉清掃ボランティア 2018 年 4 月 11 日 8 人参加	各部署
環境フォーラム開催	2018 年 6 月 8 日に第 28 回環境フォーラム、6 月 24 日に事後勉強会を開催しました。	本社	

### 4. 環境保全活動を推進

環境保全活動、環境管理システムの継続的改善、向上に努めます	ISO14001 認証	本社、調査分析センター、小牧営業所、保繕課、長久手営業所、長久手事業所、豊田事業所、安城営業所、工務課、豊橋営業所、浜松営業所、安城浄水事業所、知多事業所、三重支店、(株)エステム三重、(株)エステム三重 伊勢事務所等 認証取得しています。	本社
-------------------------------	-------------	--	----

### 5. 環境・品質方針の周知徹底と情報公開

環境・品質方針を全社員に周知するとともに、関連会社および社会に公開します	内定者への教育、購買先、協力会社へ環境・品質方針の周知	内定者を対象に入社前通信教育を実施したほか、購買先、協力会社への環境・品質方針の送付も行いました。	本社
	環境・品質方針を社会に公開	ホームページ上で公開しています。	本社

## 環境負荷低減活動の推進

### 1 燃費 (対象：全社)

全車平均の燃費は 14.2km/L でした。48 期から「e 燃費※」のサイトの実燃費データを参考に、目標燃費を 14.6km/L と決めました。この目標を達成できるよう、エコ運転を心がけるようにしていきます。並行してハイブリッド車の導入も進めていきます。

※ e 燃費 URL <https://e-nenpi.com/>

### 2 電気料金 (対象：本社及び 8 営業所)

(1) 従来本社ビル内にあった調査分析センターが 2017 年 1 月から新社屋に移転し、稼働しました。これを機に電気使用量を本社ビル単独から、営業所(8ヶ所)も合算で算出することとしました。48 期を基準年といたします。

(2) 調査分析センターで、エネルギー量の把握と合わせて省エネ活動を行いました。

(3) 本社ビルのテナントの出入りに合わせてデマンド値を見直し、省エネに取り組んでいます。

(4) 毎月最後の金曜日をノー残業デーとし、仕事の効率化を呼びかけています。

	48 期	49 期
電気使用量合計 (kWh)	506,609	484,472
金額合計 (円)	11,457,815	12,036,885
CO2 排出量 (t)	262.4	228.1

### 3 太陽光発電 (対象：本社、調査分析センター)

2008 年 10 月 1 日から本社ビル屋上に太陽光発電システムを設置、稼働しています。また 2017 年 1 月からは新社屋に移転した調査分析センターの屋上にも太陽光発電システムを設置、稼働しています。

### 4 節電 (対象：本社)

本社ビルにデマンド監視装置を導入しています。電気使用量がリアルタイムで見える化されたことにより、省エネ意識の向上に繋がっています。各フロアで電気使用量に合わせた節電アクションを行ない、エネルギー使用量の削減を目指しています。

### 5 グリーン消費購入と環境配慮について (対象：本社及び調査分析センター、保繕課)

文具、OA 機器、制服などについてグリーン購入法適合商品やエコマーク、グリーンマークなどの環境マーク表示のあるものを積極的に使用しています。49 期の文房具等に対するグリーン商品購入率は 59.7% (本社で注文している商品の実績) でした。

### 6 廃棄物の 100% 分別実施 (対象：本社)

49 期の実績は以下の通りです。100% 分別しています。

	45 期	46 期	47 期	48 期	49 期
金属屑	662.8	378.1	447.9	341.1	316.0
金属付廃プラ	587.6	545.5	651.0	524.5	358.0
廃プラ廃ゴム	1120.7	1134.3	1106.0	1671.3	1538.1
紙・木繊維屑	66.6	111.0	118.7	268.4	158.8
ガラス屑陶磁器屑	392.2	204.2	107.2	117.8	139.4
廃油	352.7	310.5	260.4	259.6	371.7
計	3182.6	2683.6	2691.2	3182.7	2882.0

単位：kg

### コラム 地球と繋がる

『環境コミュニケーションレポート 2019』は、森の町内会様による「間伐に寄与する紙」を使用いたしました。企業として日常的に使う紙を通して、寄付ではなく、印刷費用という形で環境貢献に取り組んでいます。

**間伐の必要性**

国産木材の利用低迷と林業の不振の中で間伐が行き届かず、森林の機能低下が懸念されています。間伐が行われず、地面まで太陽光が入らないため、本来の機能が果たせない森林が極めて多いのです。

**間伐のコスト**

間伐材の市価売却に行政の補助金をプラスしても、作業道の開設、間伐、輸送といったコストの方が上回り、収支が合いません。仮に間伐できたとしても、林地残材（切捨て間伐）が多くなってしまいます。

**「森の町内会」の仕組み**

「森の町内会」は、企業が環境貢献として「間伐に寄与する紙」を購入・使用し、間伐費用の不足分を補完する新たな仕組みです。間伐サポーター企業が 1kg 当たり 15 円の間伐促進費を付加した「間伐に寄与する紙」を購入して印刷用紙に使うと、間伐促進費の全額が間伐と間伐材の有効利用に充てられます。

#### トレーサビリティと間伐促進費の管理

① 間伐報告  
② 間伐材受入報告  
③ 「間伐に寄与する紙」の販売報告  
④ 「間伐に寄与する紙」の使用報告  
⑤ 間伐と間伐材利用への貢献の証明

1 サポーター企業  
2 印刷会社  
3 紙販売会社  
4 間伐材の市面  
5 間伐促進費  
6 間伐促進費

従来の紙代

間伐促進費 15 円/kg は、事務局の管理により、全額が森林組合を通して間伐と間伐材の有効利用に役立ちます。

## ボランティア活動推進

### 中国・内蒙古自治区における沙漠緑化活動

2018年8月11日～17日の7日間、愛知大学緑の協力隊が主催する「ポプラの森」(中国内蒙古自治区クブチ沙漠における沙漠緑化活動)に3名の社員を派遣いたしました。

「中国植林に参加する意義?汗を流して感じてみて!」

安城営業所 山本 由李子



皆さん、ボランティアって、特別ですか?海外に行くことは、大変ですか?行動を起こすと、自身が思うよりもハードルがぐっと低いことに気づくこともあります。そして、自ら動き出した事に後悔はないはず。最初の種火(小さな興味ときっかけ)があれば、あとは成るようになる!と、風に身を任せてみてはいかがでしょう?

私は元から様々な色・香りの風に乗る事が好きなので、今回の中国植林ボランティアにもスキップしながら乗りました。ただ、「砂漠が見たい!植林したい!…」と思いながら。ありきたりな好奇心ですが、今では十分な動機だと思います。実際に植林活動に参加し、多くの人々が協力しながらポプラの森の維持に尽力していることを知りました。彼らの活動理由は様々。植林活動の第一人者である遠山正瑛先生が好きだから、生活のため(出稼ぎ)、日中の友好の証として等…。

遠山先生は「継続することが大切」とおっしゃっています。

当たり前ですが、何事も続かなければ一瞬の灯。では、最初は先生一人だった活動が、なぜ30年も続いているのか。それは、先生の想いに動かされた人々が、各々に活動の意義を見出してきたからだだと思います。今や日中友好の懸け橋という大切な意味合いを持つようになったこの活動ですが、活動目的が人によって違ったり変わっても軸はぶれない。それは、皆実際に植林活動で汗を流し、各々の頭で植林の意義を見つけたからだだと思います。

なので!みなさん!!広大な砂漠の数%にも満たない範囲で植林する意義があるの?等、きっと疑問や意義をお持ちでしょう。では、実際に現地で活動する様子を想像してみてください。これまで活動に携わってきた人々の想いを、理屈なく頭の空っぽにして、感じることはできますか?

私が感じたこの活動の意義?それは、私がこの活動の歯車になる事。こうして多くの人に活動を広めて波を作り、より多くの人を巻き込んでいくことかな、と感じます。



### 国内での植林活動

5月19日、20日の2日間、NPO法人 森林真剣隊主催の新城市鳳来いりるの森林林活動に、総勢54名のエステムグループ社員が参加しました。

9月8日、9日実施予定だった木曾福島の育林活動は、台風接近のため、残念ながら中止になりました。



### 三河湾チャリティー 100km歩け歩け大会への参加

エステムのお客様でもある七福醸造様主催の同大会へ5名の社員が参加しました。この大会は七福醸造様の社員教育の一環として始まったもので、「100km歩く中でいかに多くの感動・感激・感謝を味わうことができるか」をテーマに開催されています。

「100km歩け歩け大会に参加して」

豊橋営業所 福田 真子



天気は曇り。暑くも寒くもない歩け日和の中、エステム勢5名、皆揃って意気揚々とスタートしました。大会の感想を一言でいうと、8対2で“辛い”の勝ちです。辛かったことは数知れずですが、今回は残りの2割の方を書こうと思います。

▷深夜1時、冷たい雨の降る中、豊橋営業所の先輩が応援に来て下さいました。疲労困憊の私の横で、とても元気な先輩。「元気を分けてあげる、ハアーツ!」とハンドパワーを送って下さいました。謎でしたが嬉しくもあり、元気が

出ました。

▷過去に100km完歩した先輩が、歩き疲れたとき走ると楽になるよと言っていたのを思い出し、半信半疑のまま少し走ってみると、本当に足がふわっと軽くなってそこから覚醒し、そのままゴールまで歩ききることが出来ました。

辛いとき、力になったのは先輩の応援でした。さらにその先輩方の言葉や優しさは8割の辛さのおかげで何倍にも有り難く感じ、力を湧き出させてくれました。応援してくださいました皆様、真にありがとうございました。

### 地域清掃ボランティア実施 (対象:本社、各営業所、事業所)

#### 本社

1990年、ある社員の「一緒に道路に落ちているゴミを拾いませんか?」の一言から始まった活動です。毎週火曜日の朝礼後に本社周辺のゴミ拾いをしています。

#### 安城浄水事業所

2017年10月21日 川と海のクリーン大作戦 降雨中止

#### 小牧営業所

2017年10月21日  
小牧市民まつり 清掃ボランティア5人参加

#### エステム三重

2017年10月28日 松名瀬干潟清掃 7人参加

#### 安城営業所

2018年4月11日 安城市内一斉清掃ボランティア 8人参加

#### 長久手営業所

2018年5月27日 530運動 8人参加

#### 豊橋営業所

2018年5月30日 530運動 8人参加



### チャリティーカレンダー展へのカレンダー寄付 (対象:本社)

年末年始にはお客様や協力会社から頂いて余ってしまったカレンダーや手帳類を広島ケナフの会主催のチャリティーカレンダー展へ送付しています。全国から善意で寄せられたカレンダーや手帳が1部200円で販売され、全収益金が財団法人ヤマト福祉財団やあしなが育英会に寄付されています。

### 古切手の回収 (対象:本社)

古切手を集め、財団法人ジョイセフに届けています。これらは資金化され、アジア、アフリカ、ラテンアメリカなどの母子保健、寄生虫予防、栄養改善等の生活改善運動に活用されています。ただ捨ててしまえば廃棄物ですが、普段の生活において、ほんの少し意識するだけで気軽にできるボランティアです。

特集

# 旭まるかじりっ!

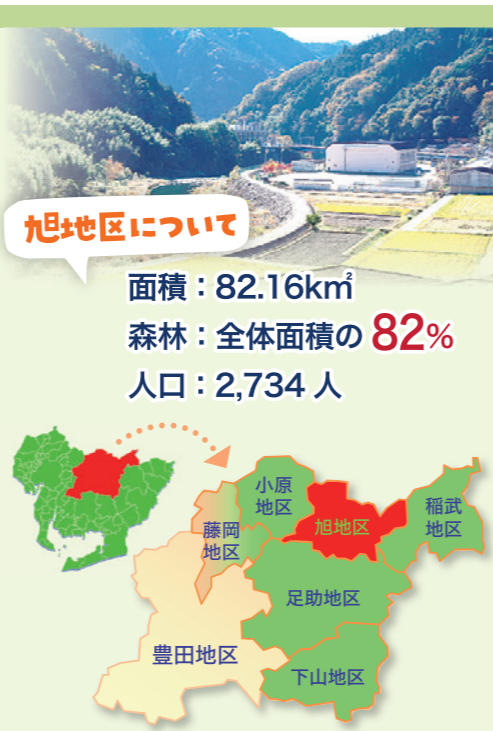
## エステム新入社員研修レポート



エステムでは、2018年新入社員研修の一環として、豊田市おいでん・さんそんセンター様ご協力のもと、豊田市旭地区にて地域のイベント企画・運営のフィールドワークを行ないました。研修期間は7月～9月の3ヶ月間。新入社員として日々の業務もこなしながら、配属先もバラバラ、資格試験も迫る、という不安な状況の中、「旭地区の魅力を発信し、もっと多くの人に好きになってもらうこと」をテーマに掲げ、試行錯誤してきました。26名の新入社員たちの奮闘をご紹介します。

### 研修のねらい

この研修では、新入社員がこれから実際にエステムのお客様に接し、様々な提案をしていく前に、「旭地区の皆様」という「お客様」とイベントに来られる「お客様」に向けた活動を通して、「お客様の立場になって考え行動する」とはどういうことなのか、また、チームで仕事をするとはどういうことなのかを、疑似体験してもらいました。



### イベントの舞台 つくらッセル (旧築羽小学校)



- 協力団体様
- ☆株 M-easy
  - ☆伊熊営農クラブ
  - ☆つくば元気クラブ
  - ☆水車の里つくば

### スケジュール

3ヶ月フォロー研修：協力団体様と顔合わせ、各グループ役割分担、計画作成

3ヶ月間

社長からの  
喝!!!

各グループで協力団体様と準備を進める

- ◆社長プレゼン、総務部への報告
- ◆地域への広告・備品の発注
- ◆当日のスケジュールリング・緊急連絡網の作成 etc...



6ヶ月フォロー研修：現地にてイベント開催

地元の皆さんへのヒヤリングの結果、イベントのターゲットとして設定したのは「旭地区に住む親子と、都会に住む親子」。単なる親子向けイベントならば、世の中には星の数ほどあります。その中で、「旭まるかじりっ!」を選んでもらえ、満足していただくにはどうしたらいいのか?ここでしか味わえない、エステムでしか提供できない、そのようなイベントを目指ようになりました。



打ち合わせ風景

### 当日のプログラム

午前	◆旭クイズ ◆おもちゃの船づくり&浮かべて遊ぼう!
お昼	◆幻のお米ミネアサヒを使ったおばあちゃんお手製五平餅 ◆地元野菜を使った新鮮サラダ ◆地元野菜をふんだんに使った窯焼き米粉ピッツァ ◆旭地区産ブルーベリーヨーグルト
午後	◆旭の水を知ろう① ~川で獲れた生物観察~ ◆旭の水を知ろう② ~水質分析に挑戦しよう!~ ◆エステム環境劇 ~汚い水をキレイにする方法を知ろう~



「水」をテーマにした午後のプログラムでは、川に住む生物の観察(前日、社員数名で川に入って捕獲)、水の成分を測るバックテスト等、普段の生活では体験できないエステムならではのプログラムを用意しました。また、新入社員全員で演じる迫真の「環境劇」(前日夜に宿泊施設で猛練習!)では、エステムのお兄さん・お姉さんが格好良く登場して、汚れた水を綺麗にする過程を分かりやすく紹介しました。

当日は、地元の親子連れだけでなく、ご家族を連れたエステム社員もちらほら。総勢41名のお客様がお越しくださいました。

### お客様の声

運営している社員の成功させたい気持ちが伝わってきました。バックテストや劇など、子供に良い経験になりました。

子供に近い説明が良い。説明が分かりやすく素晴らしい。

スタッフの方々準備ありがとうございました。家族で来ましたが、とても満足です。子供も小さいながら魚をじっくり見たり、美味しいものを食べたり楽しんでいました。また参加したいと思いました。

細かい気配りや、子供たちの相手もしていただいた。スタッフの方も楽しそうだったので、雰囲気もとても良かった。

良いプログラムと興味深い内容でした。スタッフの熱意も伝わってきました。



このイベントで訪れるまで「旭地区を知らなかった」参加者13人のうち、「また旭地区に来たいと思いますか?」という質問に対し、「是非来たい、機会があれば来たい」と回答した参加者は12人(92.3%)、イベント全体の満足度は【90.8点】というご好評をいただきました。

新入社員たちはこの過程を通して、「報連相の重要性」「同期との絆」「計画の重要性」「楽しむこと」を学びました。また、自分たちがやりたいことではなく、お客様とのやり取りの中で、お客様が望んでいることを聞き出し、それに対してエステムならではの技術や発想、チームワークで提供することが、「お客様第一主義」の実践だと発見するようになりました。この研修で一人一人が気づき、学び、成長した経験が、今後の仕事の中でも活かされることを期待しています。



## 環境・品質方針の周知徹底と情報公開



環境イベントの企画・運営

### 環境フォーラム

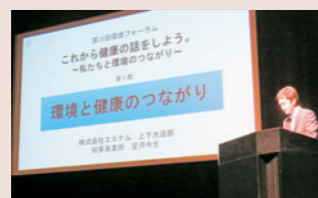


毎年6月に各分野の専門家をお招きした「環境フォーラム」を開催しています。28回目となる2018年は「これから健康の話をしよう。～私たちと環境のつながり～」をテーマに6月8日（金）に開催しました。

#### 事例発表 「環境と健康のつながり」

望月 今生（株式会社 エスエム 知多事業所）

「環境」が「健康」に与えた影響について、はじめて「都市化」に遭遇した18世紀のロンドンと下水道に焦点を当てて発表しました。急激な都市化は、大気汚染や交通渋滞、騒音など多くの問題を引き起こしました。その中で最も深刻だったのが、不衛生な環境によって蔓延した感染症です。腸チフスやコレラなどの感染症は人々の健康に大打撃を与え、下水道が本格的に整備されるまでロンドン市民を脅かし続けました。この事例を通じて、「環境」は「健康」に大きな影響を与える存在であること、「環境」を整備することで「健康」を維持できるということ、この2つのメッセージをお伝えしました。



#### 講演 「世界の環境と健康のつながり」

関野 吉晴（探検家/武蔵野美術大学教授/医師）

関野氏といえば「グレートジャーニー」。アフリカで生まれた人類がユーラシア大陸を通してアメリカ大陸に拡散した約5万3000kmの行程を自ら旅したことで有名です。本講演では、アマゾンの先住民、ヤノマミ族の集落で過ごした体験をご紹介いただきました。ヤノマミ族の世界には「仕切り」がなく、人と人、人と自然がフラット。また、精霊、悪霊といった概念が彼らの生活に大きな影響を与えており、病気の原因である悪霊をシャーマンが追い払うことによってその健康維持の役割を担っていました。また、排泄物も自分の一部であり、トイレを他人に共有させるなどもってのほかだと認識しているなど、興味深い内容をたくさんお話いただきました。



#### トークセッション 講師：関野 吉晴氏（探検家/武蔵野美術大学教授/医師）× 西内 義雄氏（医療・保健ジャーナリスト）



西内様は、ご自身の心臓弁膜症の経験を通して医療・保健に興味を持ち、保健師の楽しさや辛さを広めるべく講演活動をなさっています。地域の習慣と健康について実体験を踏まえてお話いただきました。「人が健康を維持しようとするとき、何かしらの努力が必要であり、生活習慣病はその代表格である」「特に食習慣は健康に与える影響が大きく、自分の生活の拠点にどのような特徴があるのか、検証する必要がある」と、昔からの地域の風習や生活習慣、価値観が健康と密接に結びついており、食生活からの改善をする前に、意識改革から必要だとの話をいただきました。

#### 事後勉強会 覗いてみよう！小さな生き物たちの世界 ～私たちの健康と暮らしを支える微生物～

私たちの身の回りや体内には小さな微生物がたくさん住んでいます。事後勉強会では顕微鏡でミクロな世界を観察し、健康と暮らしを支える微生物について楽しく学ぶ時間を持ちました。口の中の細胞や細菌、糞菌から活性汚泥、ミジンコといった様々な微生物を顕微鏡で観察しました。参加して下さった方たちには想像以上に感動していただき、達成感を得ることができました。



#### ホームページ

エスエムでは事業内容、ボランティア活動などを紹介した「会社HP」と、「採用サイト」を運用しています。

会社HPでは毎月社員が交代で『今月のコラム』を連載しているほか、現場のトラブル解決事例や法令の改正情報を『工場排水.com』に掲載しています。

採用サイト (<https://stem-saiyou.jp/>) は2019年に新しくリニューアルいたしました。ぜひご活用ください。



#### 環境・コミュニケーションレポートの作成

社会的な説明責任の観点から、年1回、環境保全の取り組みや環境負荷低減に関するレポートを作成しています。

#### 排水処理講座

### 排水処理講座をリニューアルしました

ソリューション営業課

2019年は今までの講座をさらに実践的な内容にリニューアルしました！ 新任者からベテランまで、教育訓練に最適な教育プログラムを4種類ご用意しています。



#### 1. 基礎コース（名古屋会場）

以前の入門編 生物処理、無機性排水を合わせた内容で、一日がかりで技術と法律の基礎を学べます。今年の開催時期は5・6・10月ですが、5月24日（金）開催分は1カ月前から満席になるほどの人気です。



#### 3. 応用コース（名古屋会場）

以前のオペレータ編をリニューアル。製造業の方限定で、主に設備ご担当者様にピッタリな内容です。改造工事など設備投資における手続きや、機器設備の方式による比較などを紹介しています。11月を予定しています。



#### 2. 改善事例コース（名古屋会場）

以前の実践編をリニューアルしたもので、排水管理のリーダークラスを対象としています。法規制の内容を把握しつつ今後の改正動向を読み解くポイントや、水質安定・コスト削減といった運転管理における測定データの活用方法を学びます。今年は7月26日（金）開催です。

#### 4. 東京限定コース（東京会場）

人気の内容を組合せた講座で、法律の基礎コースと技術の改善事例コースを聴講できます。なかなか名古屋に行けないお客様は、ぜひこの機会をお見逃しなく！今年は8月30日（金）を予定しています。



各講座の詳細案内は、開催2カ月前くらいに当社ホームページで公開します。2019年5～7月開催分講座のカタログにも年間予定は掲載しています。

講座を始めて約10年、今では年間200～300名様に受講いただく位の規模になりました。排水処理について学びたいお客様のニーズに応えられるよう、これからもパワーアップしてまいります！

